



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2008年(平成20年)10月15日

第48号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚2-28-7 TEL (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp



いきいき歌体操グループ 「さわやか」編

市社協登録ボランティアグループ「さわやか」は、童謡・唱歌・歌謡曲など歌いながら簡単な体操をする歌体操のグループです。歌体操は、イスに座ったままでもできますので、立ってするのは辛いという方にも楽しんで頂けます。身体も気持ちもスッキリできる為多くの方に喜んで頂いています。

「さわやか」のメンバーの方に日頃の活動についてお聞きしました。

「みなさん、おはようございます。お変わりありませんか。」と挨拶すると、顔が一斉に綻び歓迎の心が伝わってきます。「待ってたよ」と声がかかり、私達が気を引きしめる瞬間でもあります。

「今日も懐かしい歌を皆さんと一緒に大きな声で歌い、準備体操をした後、歌にあわせて身体を動かしましょう。」と説明してから歌体操をはじめます。

<寝たきりに「ならない」「させない」「つくらない」>をスローガンに、豊中で活動を始めて15年になります。活動場所は、特養・デイサービスセンター・校区ふれあいサロン・市のぬくもりサロン(下記写真)など、施設や地域で行なっています。参加された高齢者の方は「無理なく身体が動かせて、ほんまに楽しい」と言われます。また、デイの職員の方は「色んなレクリエーションに消極的だった方が歌っている姿を見て、ビックリしました」と、話されていました。歌につられて声が出せ、心が動き、自然と身体も動き、大変よい効果をもたらします。

活動の終わりに「ありがとうございました」とお礼を述べ、施設を後にします。それは私達自身の楽しみと、喜びのお礼です。



「いつでも、どこでも、歌にあわせて、みんなで歌えば、地域でいきいき」



◎活動に興味のある方は・・・

★定例会

桜塚→福祉会館 第2火曜日

桜塚会館 第3水曜日

蛍池→蛍池公民館 第1・3日曜日

★時間

いずれの活動日も10時～12時

★お問い合わせ

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」

豊中市中桜塚2-19-2

☎06-6848-1000



ボランティアスクール 入門講座

この講座は、これから活動を始めたいという方を対象に『福祉の町づくりとボランティア』をテーマにして、ボランティア活動に向けての基礎知識を、3日間にわたる講座で学んで頂いています。

①6月13日(金):講演

「はじめませんかボランティア」

講師—吉田芳子さん

②6月19日(木):体験学習(車いす・アイマスク・インスタントシニア)

講師—市社協登録ボランティアグループ
「みちしるべ」「ステッキ」

③6月25日(水):ボランティア体験談、施設でのボランティア活動について

講師—登録ボランティア、校区ボランティア部会、福祉施設職員

インスタント シニア体験



〈高齢者の擬似体験…いつものように、が難しいです〉

【参加者の感想】

- ・自分にも何かお役に立てることがあるのかと心配していたが、気楽に考えればいいというお話を聞き、安心した。
- ・ボランティアの基本、どのように自分が取り組むべきかを理解する事ができた。
- ・ボランティアの意味がよく分かった。これからの生き方を見つける為にも、いいお話だった。
- ・多くの方々がボランティアに接しておられる事を初めて知り、また色々なボランティアがあることも知った。
- ・ボランティア活動の具体的な内容も分かって良かった。自分に合うものをよく探したいと思う。

親子ボランティア講座 ～親子で探検隊～



7月23日(水)、小学生の子どもとその保護者を対象に「親子ボランティア講座」が開催されました。この講座は、夏休み期間に親子で共通の体験をすることで新たな気づきや発見をしていただくことを目的として開催され、今年で8回目を迎えています。

手話体験



車いす



点字・アイマスク体験



【参加者の感想】

- ・自分以外の人の立場を考えるきっかけにできるよう、今回の体験を思い出していきたい。
- ・点字を読むことの難しさ、アイマスクをして歩くことの大変さを体験し、相手の気持ちがほんの少しわかった。
- ・普段何気なく歩いている道だが、車いすに乗っていると少しの段差が身体を通じて感覚の違いを痛感した。

12組33名の親子が参加し、それぞれ希望の体験を楽しめました。



ボランティア 体験プログラム



このプログラムは、大阪府社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会の共催で、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ、NPO団体の協力により、ボランティアを一層身近に体験して頂く事を目的としたものです。



保育所でのボランティアの1コマ

対象は小学生から社会人、高齢者と幅広く、7月1日～8月31日の期間で普段はボランティア活動に参加しにくい方にも積極的に取り組んで頂く機会となりました。

豊中市では、高齢者施設をはじめ、障害者通所授産施設、保育所、校区福祉委員会といった73施設でプログラムが実施され、その中の43施設延べ332名の方々が活動されました。

「夢見る力を信じて 盲導犬グレースとともに」

～お話とピアノの弾き語り～



5月30日、「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」の講演会が行われました。

作曲家・演奏家である前川 裕美さんを迎え、上記のテーマによる講演とミニコンサートをして頂きました。前川さんは小学5年生の時に徐々に視力が失われる病気と診断され、それでも音楽家を目指し、単身渡米され、見事夢を叶えられました。留学時に現在のパートナーであるグレースと出会い、また温かい支援を受けたこと等を通じて、夢に向かって努力する事の大切さを伝えていきたいと、全国で活躍されています。

❖ 「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」？ ❖

近年、企業・団体では社会貢献活動やボランティア活動に対する支援など、様々な取組みが進められています。市内でも活動は広まり、平成11年に大阪府内で初となるこのネットワークが結成されました。「V ネットとよなか」という通称で、現在では24社が加盟し企業同士の情報交換や学習会、啓発イベント開催等の取り組みを行っています。「企業・行政・地域住民のパートナーシップ」をめざし、昨年は“大阪府社会福祉ボランティア表彰”を受賞しました。

会場には100名近いご参加を頂き、皆さん熱心にお話を聴いておられました。また、ミニコンサートでは美しいピアノの音色と歌声に、涙ぐんでおられる姿もみられました。

大盛況に終わった前川さんの講演と弾き語りは、11月2日(日)豊中ボランティアミニフェスティバル&ヒューマンバザーin 千里にて再び開催します。

(※詳細はP.8をご覧ください)

ボランティア体験学習 福祉教育研修会開催!!

平成20年7月22日(火)、福祉会館にて「ボランティア体験学習・福祉教育研修会」が行われました。この研修会は、新規採用された教職員の方々に福祉教育について学んでいただき、今後のあり方について考えていくことを目的に、平成17年度より開催しています。今年度は現任の教職員にも参加を呼びかけ、総勢96名の先生方が参加されました。

午前中は、6種類のボランティア体験の中から各々が希望した体験に参加しました。

⇒ 写真は手作り介護用品「にぎりっこ」作製体験中・・・うまく作れるかな??

体験後は、桜塚校区開催サマー給食会に参加された高齢者の皆さんに「にぎりっこ」をプレゼントし、交流を通して有意義な体験となりました。



慣れないミシンの作業にドキドキ。



午後からは、福祉教育に携わる様々な立場の方々にシンポジストとしてご参加いただき、現在の状況や福祉教育に対する思いなどを語っていただきました。

❖ 高齢者介護支援ボランティアグループ「ステッキ」の斎藤杏子さん：

体験学習を通しての、生徒とボランティアとの関わりについて。

❖ 教育センターの三上洋先生：

視覚障害者の立場から生活を行う中での工夫など、福祉教育を指導する際に役立てていただくために実演も交えての体験談。

❖ 泉丘校区福祉委員会の久野豊子さん：

学校と地域との連携や交流について。

❖ 東豊台小学校の窪田真弓先生：

地域活動への参画や関わり、福祉教育に対する思いなど。

〈シンポジスト〉(写真左より)

市社協登録ボランティアグループ「ステッキ」	斎藤杏子さん
教育センター	三上 洋さん
泉丘校区福祉委員会	久野豊子さん
東豊台小学校	窪田真弓さん

【参加者の感想】

- ・障害の有無に関わらず、他人に対してもっと思いやりを持った行動をしていきたいと思えるようになった。
- ・実体験と出会いの良さを感じた。子ども達に指導をする際は、この体験を踏まえ授業を組み立てたい。
- ・ボランティアの方々にとても丁寧な指導、アドバイスをしていただき、新しい発見や気付かされることが沢山あった。協力して下さったボランティアの方々ありがとうございました。

次世代人材育成プロジェクトスタート

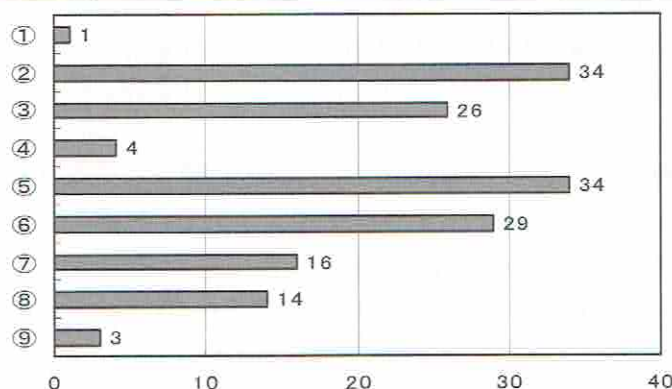


昨年度、校区福祉委員会を対象に実施した校区人材養成アンケート調査の中で、多くの校区福祉委員会で、「役員の高齢化」「若い人の参加が少ない」という課題があることがわかりました(下図参照)。そこで、今年8月29日より市内の8校区から、30代～50代のメンバーにお集まりいただき、次世代人材育成プロジェクトがスタートしました。

この会では、若い世代の人たちが地域活動に参加できない要因は何か、また参加を促進していくためには、どのような条件が必要なのか、さらに、どのようなPR方法が必要かなどについての話し合いが進められています。今後は、来年の1月を目途に校区福祉委員会のホームページづくりやPR誌の発行また若い人の参加を受け入れていくための校区福祉委員会への意見をまとめていく予定です。新しい動きに乞うご期待。

設問 現在校区福祉委員会で人材に関わる課題があれば、あてはまるものすべてご記入ください。(計38校区中)

- ①ボランティアが常に入れ替わり、活動が深まらない
- ②ボランティアの高齢化が進んでいる
- ③ボランティアの出入りがほとんどない
- ④新しいボランティアと従来のボランティアがなじめない
- ⑤若い人の参加が少ない
- ⑥男性の参加が少ない
- ⑦平日動ける人が少ない
- ⑧団塊の世代へのアプローチ
- ⑨その他



桜塚高校文化祭



ボランティア体験ブース
を実施しました♪

9月20日(土)、桜塚高校文化祭でボランティア団体連絡会・桜塚高校PTA生徒育成委員会・桜塚高校生徒保健委員会が共催でボランティア体験ブースを催しました。

今回の企画は、若い世代の方達にもボランティア活動を知ってもらいたいと、ボランティアセンターが以前より交流のあった桜塚高校に持ちかけ、皆様のご協力のおかげで初めて実現することができました。

当日は、手話・点字・車イス等6種類の体験ブースと、生徒のみなさんが事前学習に取り組んだ内容をまとめたパネルの掲示、また、PTAが点字の付いた日用品を集めた展示会などを行い、生徒や家族連れなど多くの方々が訪れて下さいました。

たくさんの高校生にボランティア活動を知ってもらい、参加して頂けるような企画ができるよう、これからも取り組んでいきます。



【参加者の感想】

- ・車イスに乗ったのは初めてでしたが、段差を進むのが大変で、スロープがなぜ設置されているのかがよく理解できました。
- ・手話には一つ一つの動作に意味があることを知りました。

ボランティアは今

☆☆個人ボランティアさん大集合☆☆

市社協では、ボランティアグループに参加してボランティア活動されている方と、個人で色々なボランティア活動をされている方がいらっしゃいます。今回は、個人でボランティア活動されている方の中から4名のみなさんにお話をお伺いしました。

リズム体操・健康体操ボランティア 島田 芳枝さん

ゆったりした曲で筋肉を伸ばす、心の弾む曲で体を動かす、声をあわせて懐かしい歌を歌う。ゲームやクイズも取り入れてメニューを考える時、私は参加される皆さんの楽しんで下さる顔を思い浮かべながら、無い知恵を絞る。喜んでもらえると思いついたものが、もう一つ盛り上がらなかったり、予定外にちょっと出したものが大いに盛り上がったたり、レクリエーションとは本当にその時の、その場の出会いの瞬間の両者のありようで展開が変わる。毎回、ちょっとドキドキ、ちょっとワクワクするのだ。

参加される人たちは、思いのほかこちらへ気遣いをされる。そうした皆さんがリラックスして、はじける笑顔になった時、私の中には最高の喜びが湧く。私が皆さんから元気を頂いているのだ。

私は退職後のボランティアだから、対象の皆さんは親や叔父・叔母と同世代の方々がほとんどだ。参加される皆さんの中に亡き母を見、その笑顔の中に母の笑顔を見る気がする。

私の活動のエネルギーの源は、介護を続けてきて、なお、し足りなかったと思う母への思いかもしれない。



美豊苑にて

参加者としてしっかりコミュニケーションを取りながら、昔なつかしのリズムに合わせて1.2.1.2。



演芸ボランティア

伎楽座 舞歌(宮崎 文子)さん

七変化に魅せられて

本日の演目
「奥山もみじ」



観客も参加型の演目を取り入れる等、盛沢山の内容となっています。



自分ができる事で何か社会に貢献できないか…そうだ、外出もままならない方達に“夢”を届けて廻ろう！

そうして始めたのが「出前演芸」なのです。最初は慣れない音響部分で大変苦労しましたが、私の一途な想いが天に届いたのか何とか今日まで元気で頑張らせて頂いております。施設を訪問すると、「ありがとう」と言って涙ながらに寄って来られる方、私を男性と信じて「素敵な殿方と握手を…」と求めてこられる方、様々な方達との出会いが待っています。この5年間で約120回という公演も無事務め上げ、あわせて大勢の方々の笑顔をも頂戴することができ、こんな幸せな事ってありません。今まで、色々なボランティアをしてきましたが、この出前演芸が私には一番向いているようです。そして、私の公演にもボランティアさんが付いてお手伝いしてくれています。本当に助かり、感謝しています。

さあ、私は明日も夢を届けに参ります。

園芸ボランティア
西村 松枝さん

小曽根病院第3デイケアへ訪問するようになって、早3年近くになる。ボランティア募集で、園芸の依頼を見つけ、土いじりや花作りが大好きな私は、これこそ天命とばかりに応募したのがきっかけで、現在に至っている。

「ゆったり、いきいき、充実生活」がモットーの当デイケアでは、いくつかの活動の中から、自分の好みのものを選んで、それぞれに楽しめる。園芸のグループでは、土作りから始まり、季節に合わせた種まき、苗などの植え付け、食べ頃の野菜の収穫など皆思い思いの仕事を分担してする。作業の中で自然に生まれる会話や心の交流、土を、植物を通して生まれる生きる力。いつのまにか癒し癒されていることに気付く。そして、採れ採れの野菜を使っの料理はこの上なく贅沢な至福の一皿で、おいしいと歓声があがる。

園芸が福祉や治療に役立つと言われるようになって、私自身、身を持って感じることもある。20年近く難病と闘って生き抜いていった夫の傍で寸暇を見つけて花や野菜作りをしたことで、どんなに癒され心のゆとりを取り戻したか。

園芸という媒体があったからこそ、長い看護と介護を優しい気持ちで持続できたと思っている。皆さんと話し合い、触れあい、共に色々な作業をし、それはこの上ない一時を過ごさせて頂いている。与えるものより、与えられているものの大きさを実感している。一番楽しんで喜んで元気を頂いているのは私自身だと感謝している。「もう結構ですよ」と言われるまで、体に気をつけ頑張っで続けていきたい。



西村さん(左から2番目)と小曽根病院第3デイケアのメンバーでゴーヤを収穫!!

季節折々の野菜を栽培、収穫しています。



朗読ボランティア
出砂 康子さん

自分の家族が施設で大変お世話になり、それが朗読によるボランティアをしてみようと思ったきっかけです。ボランティア登録をする時に自分の時間的な都合を考え、個人で登録してみることにしました。現在、30分程度の朗読会を自分の都合がつく時に、老人ホームなどで行っています。

朗読会の内容は、絵本や短い文章の朗読、紙芝居などです。歌詞や詩を参加して下さった方々と一緒に読んだりする事もあります。読む内容をできるだけ分かりやすくしようと、絵を描いていたり、小道具を作ったりする事もありますが、いつもうまくいくとは限りません。わずかな経験の中から、次のような事が分ってきました。それは、自分の朗読を聞いてもらおうと気負っていくとかえってうまくいかず、それより聞いて下さる方と一緒に自分も楽しもうと気楽にいかせてもらった方が良い雰囲気になるように思います。また、時間的に無理をしたり、お金をかけすぎたりせず、自分にできる範囲の事をするのが、活動が続けていく上で大切だということです。

私は無理をしない、自分なりのボランティアをしばらく続けてみようと思っています。



時には小道具を使うなど、工夫しながら朗読ボランティアを楽しんでいます。

地元根付いた場所での活動、心がけ、行動を続けることを希望します。

募金のお礼

＜ミャンマーサイクロン及び中国・四川省大地震＞

上記における義援金として、募金箱を5月15日～6月5日の間、福祉会館・ボランティア活動推進センター「ぷらっと」・福祉の店「なかま」に設置しました。たくさんの皆様のご協力で、209,611円集まり、半分ずつが豊中地区募金会・日本赤十字社大阪府支部豊中市地区を通じそれぞれの被災者への救援金として使われました。

＜岩手・宮城内陸地震＞

義援金として、募金箱を6月18日～7月10日の間、同上3箇所に設置しました。多くの皆様のご協力で、27,195円集まり、被災者への救援金として使われました。

みなさまの温かいご支援・ご協力
どうもありがとうございました。

～今後の予定～

★豊中ボランティアミニフェスティバル

&ヒューマンバザーin千里

11月2日(日)10:30～15:30

(※ステージ発表は12:00～15:30)

場所:豊中市千里文化センター「コラボ」

★こころのボランティア講座

11月10日(月)13:30～15:30 場所:福祉会館

11月17日(月)13:30～15:30 場所:桜塚会館

★年賀状ボランティア

11月13日(木)、14日(金)、20日(木)、
25日(火)、28日(金)

いずれも10:00～12:00及び13:00～16:30

場所:市立福祉会館

★ボランティアはじめま専科

・10月23日(木)10:00～12:00

友愛電話訪問ボランティアグループ「聴くの会」

・11月28日(金)13:30～15:00

外出支援ボランティアグループ「みちしるべ」

どちらも 場所:ボランティア活動推進センター「ぷらっと」

★ボランティア新年の集い:2009年1月予定



「ぷらっと」移転のお知らせ

平成14年7月より桜塚商店街に設置され、多くの方々にお立ち寄り頂き、また、ご利用頂きましたボランティア活動推進センター「ぷらっと」が、平成20年2月をもちまして移転する予定です。

移転場所は、旧市立豊中病院跡地に建設中の「(仮称)健康福祉センター」になり、市社協事務局も同じ建物内に併設となります。詳細につきましては、準備が整い次第、市広報誌やホームページ等に掲載する予定でございます。

今後も引き続き「ぷらっと」をご活用頂きますよう、よろしくお願い致します。



編集後記



ここ数年、当センターの登録ボランティアも高齢化が進む一方で、若い方の新規登録が少ないのは寂しい限り。こうした現状を打開する為には、若い方々にボランティアの大切さ・素晴らしさを知ってもらうことが大切だろう。新しい試みとして本誌でご紹介した桜塚高校文化祭でのボランティア体験コーナーは、その意味で大いに期待したい。

(アクセス K. N)